

神奈川県内のソーシャル・インパクト・ボンドに関する認知度調査

要 旨

(1) SIB の認知度

「あまり知らないが、名前は聞いたことがある」が6割

(2) SIB を知った情報元

「インターネット」が4割（地方公共団体）

「テレビ/新聞」が5割（金融機関）

(3) SIB の導入状況（地方公共団体）

「具体的な検討に至っていないが、関心はある」が8割

(4) SIB への資金提供状況（金融機関）

「対象となる事業によっては検討したい」が5割

(5) SIB の導入にあたっての課題（地方公共団体）

「SIB の知識が足りない」が5割

(6) SIB への資金提供にあたっての課題（金融機関）

「SIB の知識が足りない」が5割

(7) SIB で解決したい地域課題（地方公共団体）

「施設・インフラの維持管理」が7割

1. 概況

ソーシャル・インパクト・ボンド（以下、SIB）は、高齢化に伴う医療費の増大などソフト面の様々な社会課題を解決する官民連携手法の一つである。SIBは、民間資金を活用して社会課題解決のための事業を民間事業者等が実施し、成果に応じて行政から対価が支払われる成果連動型の社会的インパクト投資の一つであり、大腸がん検診率向上、認知症予防等のヘルスケアの分野を中心に、若者就労支援、起業支援、こどもの学習支援・生活支援などの分野においても広がりが期待されている。

横浜財務事務所は、幅広い層へのSIB等の認知度向上を図ることを目的に、2019年10月30日（水）にSIB等の普及促進に向けたセミナーを開催した。セミナーの開催にあたって、神奈川県内の地方公共団体及び金融機関におけるSIBの認知度を図るためにアンケート調査を行っており、本レポートはその調査結果を取りまとめたものである。

なお、調査にあたり、地方公共団体については財政担当部署を対象に行っている（ただし、回答には財政担当部署の依頼を受けた他部署の回答を一部含む）。また、取りまとめにあたっては、無回答を除いて集計を行っている。

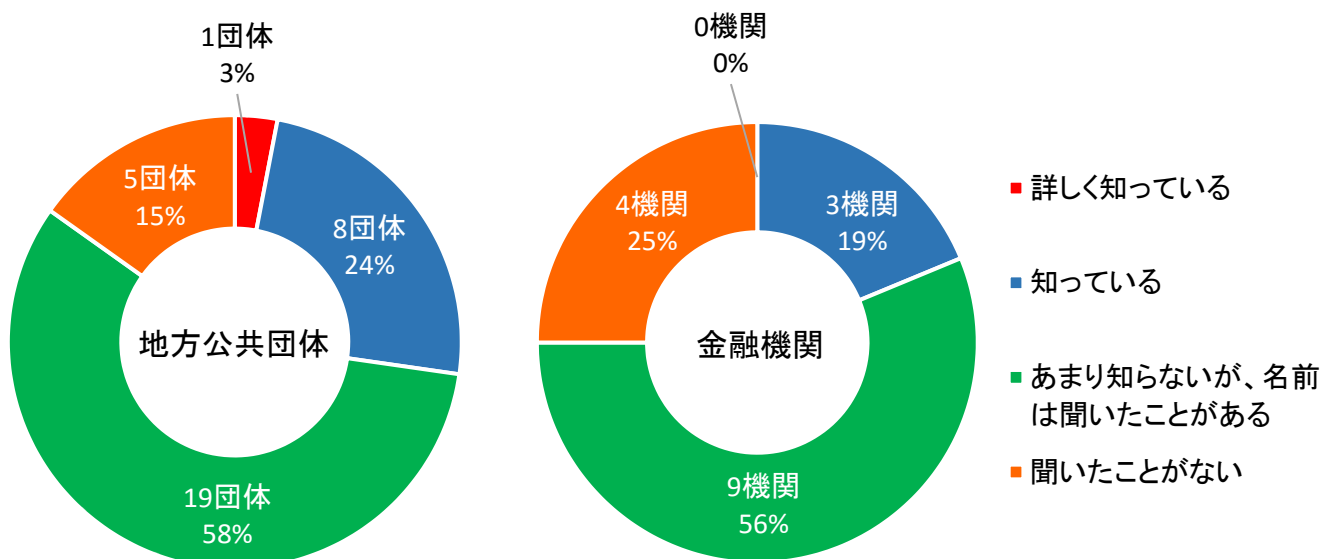
2. 調査手法

調査対象	神奈川県内の市町村（33団体） 神奈川県内の地方銀行、第二地方銀行、信用金庫及び信用組合（16機関）
調査方法	メールによる送付・回収（一部、電話による回答確認）
調査期間	2019年9月17日（火）～2019年12月3日（火）

3. 調査結果

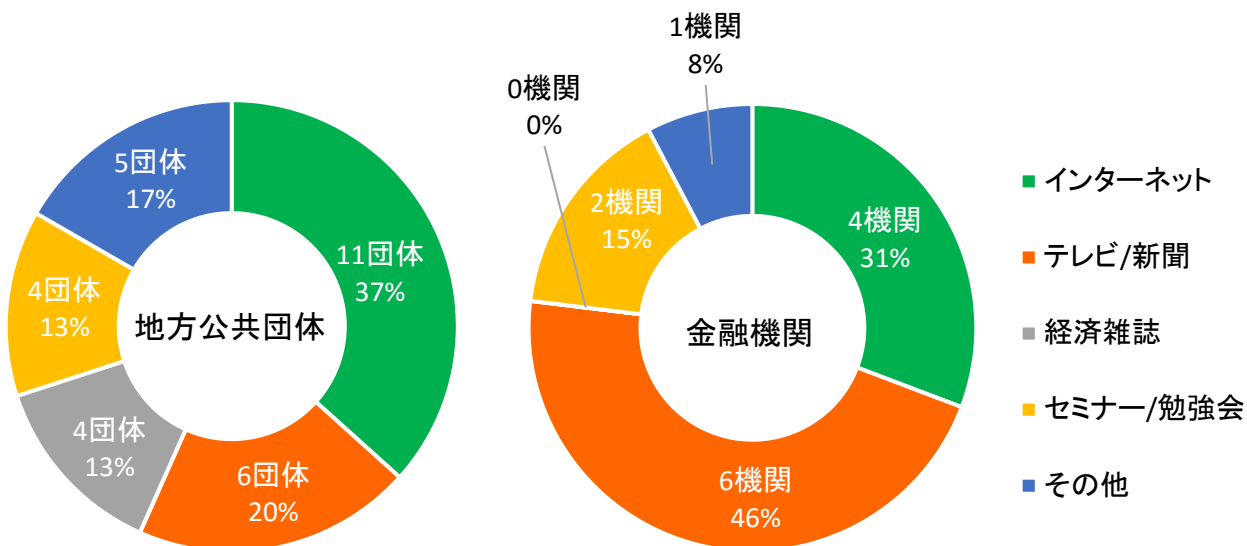
(1) SIBの認知度

SIBの認知度について質問したところ、地方公共団体では「あまり知らないが、名前は聞いたことがある」が19団体(58%)、「知っている」が8団体(24%)、「聞いたことがない」が5団体(15%)となっている。一方、金融機関では「あまり知らないが、名前は聞いたことがある」が9機関(56%)、「知っている」が3機関(19%)となっている。



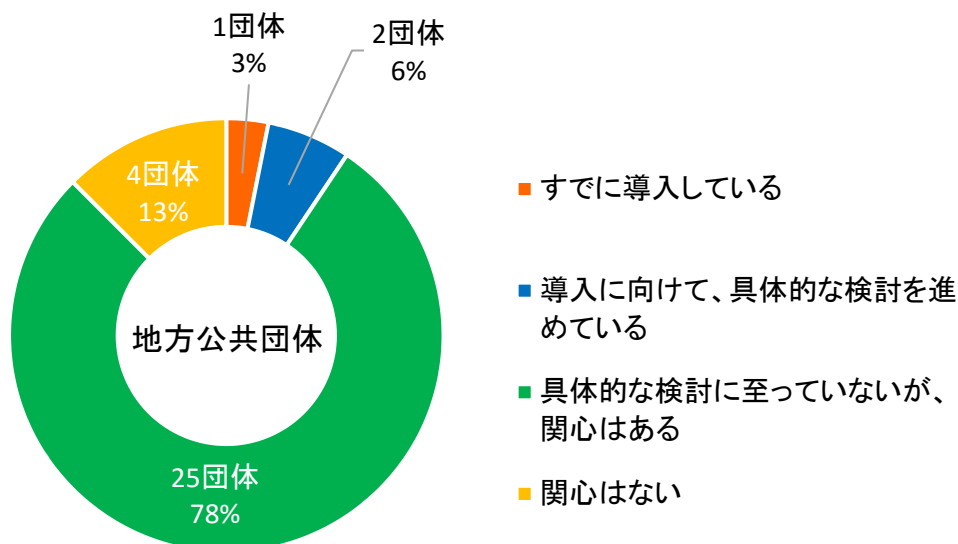
(2) SIBを知った情報元

SIBを知った情報元について質問したところ、地方公共団体では「インターネット」が11団体(37%)、「テレビ/新聞」が6団体(20%)、「その他」が5団体(17%)となっている。「その他」では「庁内でSIBの活用を考えている部局があり、その部局からの情報提供により知った」、「横浜財務事務所からのリーフレットにより知った」、「今回のセミナーの開催通知により知った」との回答を得ている。一方、金融機関では「テレビ/新聞」が6機関(46%)、「インターネット」が4機関(31%)、「セミナー/勉強会」が2機関(15%)となっている。



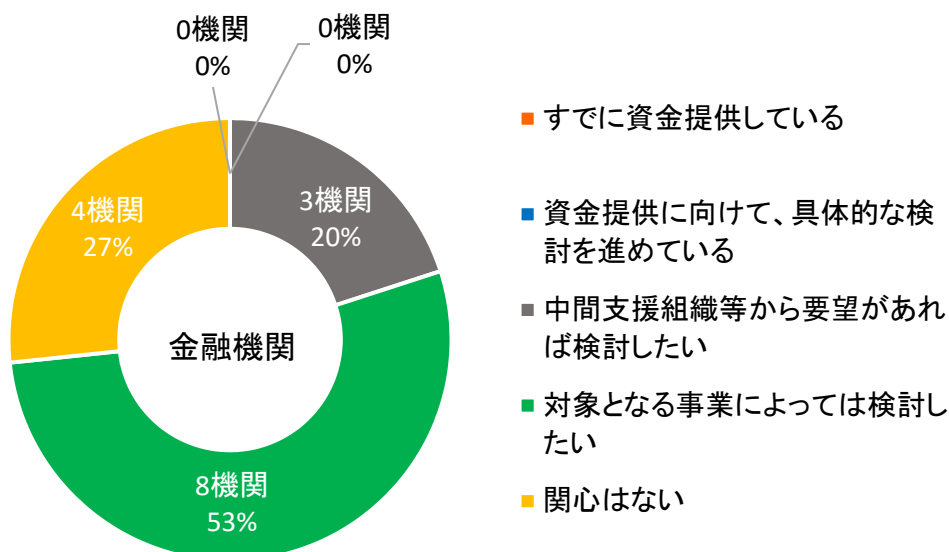
(3) SIBの導入状況(地方公共団体)

SIBの導入状況について地方公共団体に質問したところ、「具体的な検討に至っていないが、関心はある」が25団体(78%)、「関心はない」が4団体(13%)、「導入に向けて、具体的な検討を進めている」が2団体(6%)となっている。



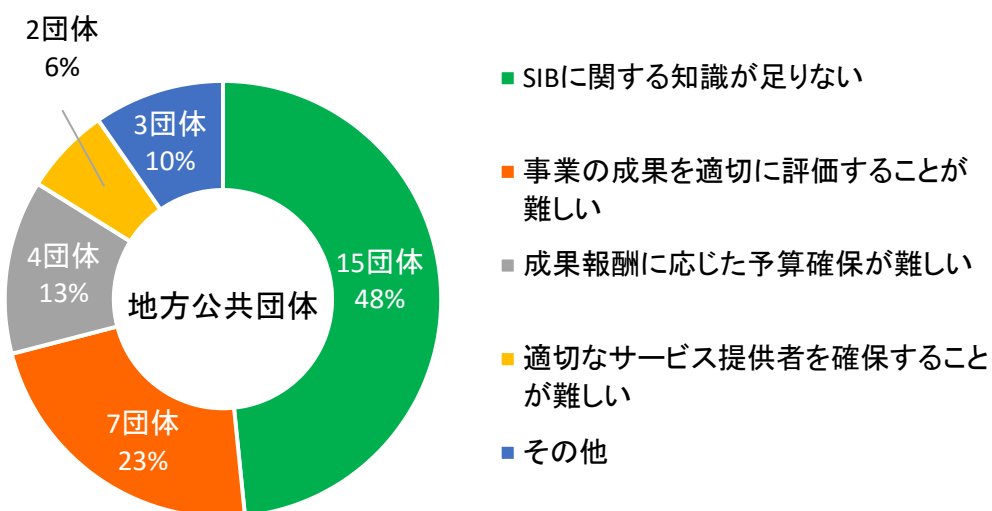
(4) SIBへの資金提供状況(金融機関)

SIBへの資金提供状況について金融機関に質問したところ、「対象となる事業によっては検討したい」が8機関(53%)、「関心はない」が4機関(27%)、「中間支援組織等から要望があれば検討したい」が3機関(20%)となっている。



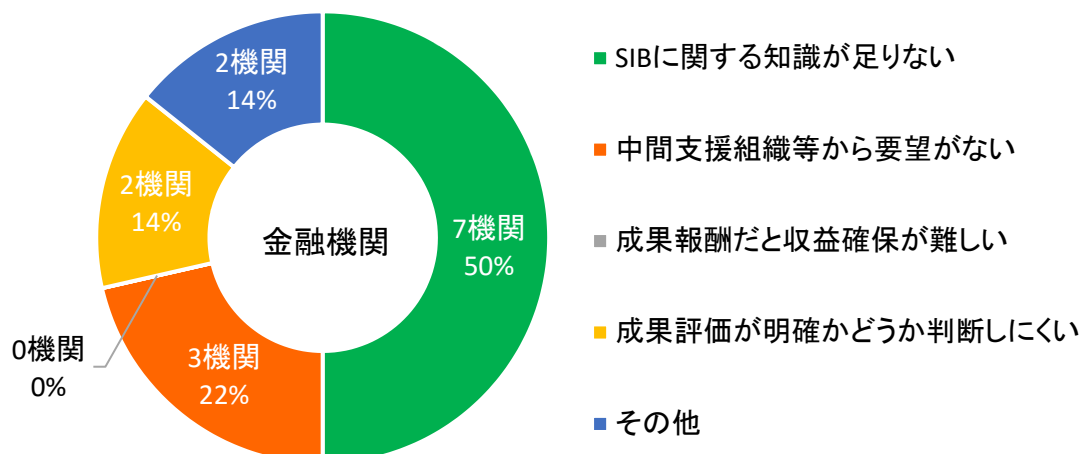
(5) SIBの導入にあたっての課題（地方公共団体）

SIBの導入にあたっての課題について地方公共団体に質問したところ、「SIBに関する知識が足りない」が15団体（48%）、「事業の成果を適切に評価することが難しい」が7団体（23%）、「成果報酬に応じた予算確保が難しい」が4団体（13%）となっている。「その他」では「SIBの具体的な検討に至っていないため、どのような課題が発生するかが不明」との回答を得ている。



(6) SIBへの資金提供にあたっての課題（金融機関）

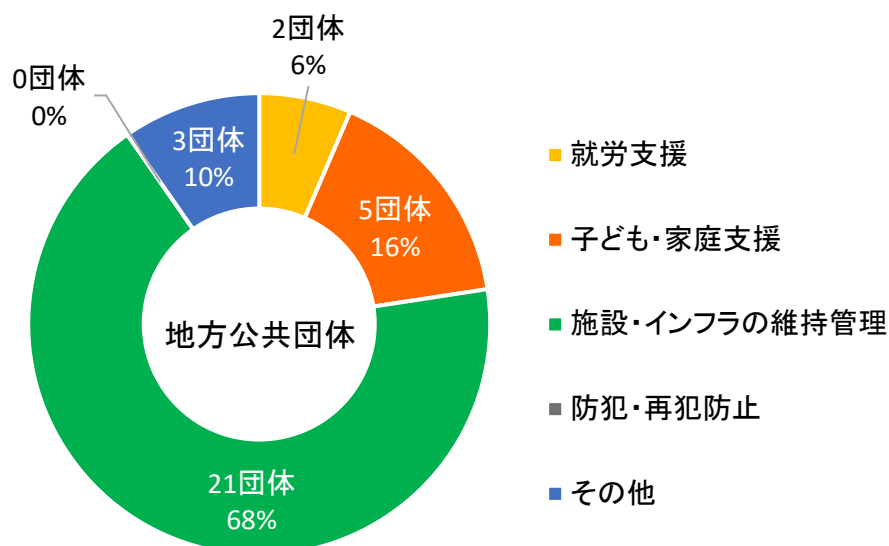
SIBへの資金提供にあたっての課題について金融機関に質問したところ、「SIBに関する知識が足りない」が7機関（50%）、「中間支援組織等から要望がない」が3機関（22%）、「成果報酬が明確かどうか判断しにくい」と「その他」がともに2機関（14%）となっている。「その他」では「選択肢すべてが課題としてあてはまる」との回答を得ている。



(7) SIB で解決したい地域課題（地方公共団体）

SIB で解決したい地域課題について地方公共団体に質問したところ、「施設・インフラの維持管理」が21団体（68%）、「子ども・家庭支援」が5団体（16%）、「その他」が3団体（10%）となっている。「その他」では「SIB に関する知識が不足しており、どの課題を解決できるのかが不明」、「小規模団体では SIB の活用により得られるメリットが少ないと思われる。複数自治体の中で広域の共通課題に取り組むとしても、SIB の知識差等により、SIB の活用はハードルが高いと思われる」との回答を得ている。

なお、全国ベースでみると、SIB の国内事例が蓄積するに伴い地方公共団体は「健康増進」や「介護施設」と回答する傾向がみられたため¹、本質問ではこの2項目の選択肢を除いて調査している。



(以上)

(注) 本レポートにおける本文の年号表記については、西暦で統一した。

《御礼》 本レポートの作成にあたり、ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

(調査協力)

神奈川県内の市町村、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫及び信用組合

財務省関東財務局
横浜財務事務所 財務課
【担当】小代、南

¹ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「平成30年度 自治体経営改革に関する実態調査報告」

PPP/PFI, SIB 普及促進セミナー 事前アンケート

セミナーの開催にあたって、皆様のご意見をお聞かせいただけますと幸いです。最も合致すると思われる答えを一つお選びください。

なお、本アンケートについては、集計結果のみ公表を予定していますので、予めご承知置きをお願いします(個人団体名は非公表)。

1. ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)をご存じですか。

- 詳しく知っている
 知っている
 あまり知らないが、名前は聞いたことがある
 聞いたことがない

☞ ソーシャル・インパクト・ボンドとは、「成果連動型支払」と「民間資金の活用」を組み合わせた新しい官民連携手法です。

2. 何を通じてSIBを知りましたか。

- インターネット
 テレビ/新聞
 経済雑誌
 セミナー/勉強会

その他 →

(自由にお書きください)

3. SIBの導入を検討している/してみたいと思いますか。

- すでに導入している
 導入に向けて、具体的な検討を進めている
 具体的な検討に至っていないが、関心はある
 関心はない

4. 日本では、健康増進や介護予防にSIBの導入実績があります。それ以外に、解決したい地域の課題はありますか。

- 就労支援
 子ども・家庭支援
 施設・インフラの維持管理
 防犯・再犯防止

その他 →

(自由にお書きください)

5. SIBを導入するにあたって、直面している/直面すると思われる課題はありますか。

- SIBに関する知識が足りない
 事業の成果を適切に評価することが難しい
 成果報酬に応じた予算確保が難しい
 適切なサービス提供者を確保することが難しい

その他 →

(自由にお書きください)

金融機関名

PPP/PFI, SIB 普及促進セミナー 事前アンケート

セミナーの開催にあたって、皆様のご意見をお聞かせいただけますと幸いです。最も合致すると思われる答えを一つお選びください。

なお、本アンケートについては、集計結果のみ公表を予定していますので、予めご承知置きをお願いします(個人金融機関名は非公表)。

1. ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)をご存じですか。

- 詳しく知っている 知っている あまり知らないが、名前は聞いたことがある 聞いたことがない

👉 **ソーシャル・インパクト・ボンドとは、「成果連動型支払」と「民間資金の活用」を組み合わせた新しい官民連携手法です。**

2. 何を通じてSIBを知りましたか。

- インターネット テレビ/新聞 経済雑誌 セミナー/勉強会

- その他 →

(自由にお書きください)

3. SIBに対して資金提供を検討している/してみたいと思いますか。

- すでに提供している 提供に向けて、具体的な検討を進めている
 中間支援組織やサービス提供者から要望があれば検討したい 対象となる事業によっては検討したい
 関心はない

4. SIBに対して資金提供するにあたって、直面している/直面すると思われる課題はありますか。

- SIBに関する知識が足りない 中間支援組織やサービス提供者から要望がない
 成果報酬だと収益確保が難しい 成果評価が明確かどうか判断しにくい
 その他 →

(自由にお書きください)

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～